

多目的藻礁の開発

水産土木工学部

研究の背景・目的

1. 海藻の着生基質、有用生物の生息場、育成場となる多目的な藻礁の開発
2. 緩やかな消波、海岸地形の保全に利用できる施設の開発

研究成果

1. 自然に存在する岩を参考に新型藻礁を開発
2. 千葉県館山湾内の試験礁設置により、クロメ、ホンダワラ類の海藻の着生、イセエビ(含む稚エビ)の生息、インダイ、イサキ、カンパチ、アナゴの蛸集を観察

波及効果

自然の海底条件を模倣する藻礁の設置が進むことにより、穏やかな消波効果を得て、海岸地形の保全を推進する技術開発に寄与する。



写真1 カナクラ石

地元ではカナクラ石(写真1)と言われている石をヒントに、ブロックユニット(図1)を考案した。試験礁は3段積として設置した。(図2)

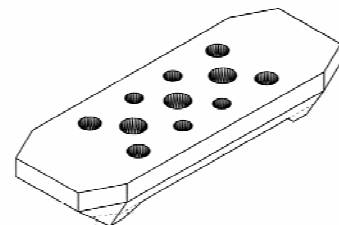


図1 カナクラブロック

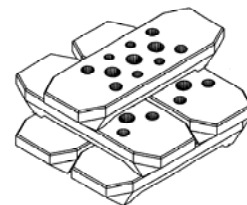


図2 試験礁

(漁場施設研究室・高木儀昌)